



Digital Garage

2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社デジタルガレージ

上場取引所 東

コード番号 4819 URL https://www.garage.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部 副本部長 (氏名) 野崎 洋之 TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 2024年2月8日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,542	23.3	6,136	-	4,231	-	4,415	-	4,553	-
2023年3月期第3四半期	22,333	△57.8	△11,858	-	△8,093	-	△7,931	-	△8,520	-

	基本的1株 当たり四半期利益	希薄化後1株 当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	97.34	96.23
2023年3月期第3四半期	△168.30	△168.30

(注) IAS第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）の適用に伴い、2023年3月期第3四半期について遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	234,923	80,624	78,361	33.4
2023年3月期	216,275	81,972	80,030	37.0

(注) IAS第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）の適用に伴い、2023年3月期について遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	37.00	37.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期における期末配当予想は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

当社グループがスタートアップ企業等への投資により保有する有価証券について、期末時点の公正価値評価額を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。

なお、当社グループにおける収益基盤である決済事業及びマーケティング事業等を統合したプラットフォームソリューション・セグメントの税引前利益につきましては、前連結会計年度に比べ15%程度の増益を見込んでおります。詳細につきましては、（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、(添付資料) 14ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	47,617,700株	2023年3月期	47,607,500株
2024年3月期3Q	2,739,371株	2023年3月期	1,534,826株
2024年3月期3Q	45,357,730株	2023年3月期3Q	47,127,770株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 連結経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
収 益	22,333	27,542	5,209	23.3
税引前四半期利益(△損失)	△11,858	6,136	17,994	—
四半期利益(△損失)	△8,093	4,231	12,325	—
親会社の所有者に帰属する 四半期利益(△損失)	△7,931	4,415	12,347	—
四半期包括利益	△8,520	4,553	13,074	—

当第3四半期連結累計期間の収益は27,542百万円(前年同期比5,209百万円増、同23.3%増)、税引前四半期利益は6,136百万円(前年同期は11,858百万円の損失)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,415百万円(前年同期は7,931百万円の損失)、四半期包括利益4,553百万円(前年同期比13,074百万円増)となりました。

当第3四半期連結累計期間は、当社グループの事業基盤であるプラットフォームソリューションの業績が堅調に推移したほか、前年同期に計上した投資先の公正価値評価損からの反動により、税引前四半期利益は大幅な増益となりました。また、ロングタームインキュベーションでは、当社グループの中長期的な成長を牽引する新規事業への先行投資を継続し、新たな事業領域の創出を加速しているほか、グローバル投資インキュベーションでは、保有する有価証券の売却が進むなど、中期経営計画における施策が進捗しました。

② セグメント業績の概況

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、2024年3月期を初年度とする新たな中期経営計画の発表に伴い、第1四半期連結会計期間より事業セグメントの区分を変更しております。前第3四半期連結累計期間の数値につきましても、新たな事業セグメント区分に組み替えた数値を記載しております。

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	前年同期比	
				増減額	増減率 (%)
プラットフォーム ソリューション	収 益	17,450	17,993	543	3.1
	税引前四半期利益	4,760	4,992	232	4.9
ロングターム インキュベーション	収 益	6,631	4,126	△2,505	△37.8
	税引前四半期利益	4,251	1,241	△3,010	△70.8
グローバル投資 インキュベーション	収 益	△2,240	4,587	6,827	—
	税引前四半期利益	△9,603	2,996	12,598	—
調 整 額	収 益	492	835	343	69.7
	税引前四半期利益	△11,267	△3,093	8,174	—
合 計	収 益	22,333	27,542	5,209	23.3
	税引前四半期利益	△11,858	6,136	17,994	—

〔プラットフォームソリューション〕

プラットフォームソリューションでは、Eコマース（EC）及び対面店舗等のBtoC商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済をはじめ、QRコード決済、コンビニ決済等のあらゆる電子決済手段を提供する決済プラットフォーム及びインターネットとリアルを融合した総合的なデジタルマーケティングを展開しております。マーケティングを活用した小売事業者等への集客による決済機会の拡大、決済プラットフォームにより蓄積される膨大な消費者購買情報を活用した新たなデータマーケティングの開発等、当社グループのコアアセットである決済プラットフォームを軸とした事業基盤の拡大及び持続的な収益成長に向けて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、決済とデジタルマーケティングの連携強化を企図した事業体制への移行及び人材採用等に伴い費用が増加したものの、旅行、外食関連をはじめとした決済取扱高が前年同期比で伸長したほか、アライアンス戦略による加盟店開拓が順調に進捗し、対面決済領域における総合小売店の取扱いが積み上がったことから、決済取扱高は4.6兆円（前年同期比17.7%増）となる等、事業が堅調に推移しました。

これらの結果、収益は17,993百万円（前年同期比543百万円増、同3.1%増）、税引前四半期利益は4,992百万円（前年同期比232百万円増、同4.9%増）となりました。

〔ロングタームインキュベーション〕

ロングタームインキュベーションでは、決済プラットフォームを軸とした強固な事業基盤及び㈱カクコムが運営する日本最大級のメディアにおいて有する顧客資産等を活用した戦略事業の開発及びインキュベーションを行っております。企業間取引（BtoB）決済領域における新たなサービスのほか、各産業のDX化を支援するプロダクト開発による事業者の業務効率化及びキャッシュレス化の促進、次世代メディアの開発、暗号資産の社会実装を目指した事業開発等を行うことにより、プラットフォームソリューションの更なる高付加価値化及び成長加速を図るとともに、中長期的に企業価値を牽引する事業の創出に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、新規事業への先行投資を継続しており、当社グループにおける中長期的な成長を見据えた新たなサービスの開発及び推進に注力しました。また、前年同期に計上した関係会社株式売却益の反動によりセグメント業績は減収減益となりました。

これらの結果、収益は4,126百万円（前年同期比2,505百万円減、同37.8%減）、税引前四半期利益は1,241百万円（前年同期比3,010百万円減、同70.8%減）となりました。

〔グローバル投資インキュベーション〕

グローバル投資インキュベーションでは、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。創業以来、北米・日本・アジア・欧州を中心に築き上げてきた独自のディールソースである「グローバルインキュベーションストリーム」のほか、当社グループが運営する日本初のシードアクセラレータープログラム「Open Network Lab」等により世界中の有望なスタートアップ企業へリーチするとともに、当社グループ事業との連携を一層深めることにより、当社グループ及び投資先の企業価値の最大化を目指しております。

当第3四半期連結累計期間は、前年同期に計上した投資先の公正価値評価損からの反動により大幅な増益となったほか、外国為替相場が前連結会計年度末に比べ円安傾向で推移したこと等により、外貨建て営業投資有価証券を中心に公正価値評価額が増加しました。また、有価証券の売却及びファンドからの分配金等により、28億円の投資事業収入となりました。

これらの結果、収益は4,587百万円（前年同期比6,827百万円増）、税引前四半期利益は2,996百万円（前年同期は9,603百万円の損失）、営業投資有価証券の残高は、71,151百万円（前連結会計年度末比3,475百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率 (%)
流動資産	144,776	162,955	18,179	12.6
非流動資産	71,498	71,968	470	0.7
資産合計	216,275	234,923	18,648	8.6
流動負債	94,780	91,608	△3,172	△3.3
非流動負債	39,522	62,691	23,168	58.6
負債合計	134,303	154,299	19,996	14.9
資本合計	81,972	80,624	△1,348	△1.6

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて18,648百万円増加し、234,923百万円となりました。この主な要因は、現金及び現金同等物が9,406百万円、決済事業等に係る営業債権及びその他の債権が4,146百万円、営業投資有価証券が3,475百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて19,996百万円増加し、154,299百万円となりました。この主な要因は、未払法人所得税等が1,385百万円減少した一方、社債及び借入金（流動負債及び非流動負債）が14,435百万円、決済事業等に係る営業債務及びその他の債務が7,663百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて1,348百万円減少し、80,624百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により4,415百万円増加した一方、自己株式が取得により5,000百万円増加したほか、利益剰余金が配当金により1,705百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループがスタートアップ企業等への投資により保有する有価証券について、期末時点の公正価値評価額を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりませんが、当社グループにおける収益基盤である決済事業及びマーケティング事業等を統合した事業セグメントであるプラットフォームソリューションの税引前利益につきましては、前連結会計年度に比べ15%程度の増益を見込んでおります。

セグメント名	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前 期 比	
			増減額	増減率
プラットフォーム ソリューション	税引前利益 64億円	74億円	10億円	15%

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	53,335	62,740
営業債権及びその他の債権	20,765	24,911
棚卸資産	357	424
営業投資有価証券	67,676	71,151
その他の金融資産	281	277
未収法人所得税等	1,384	1,492
その他の流動資産	979	1,959
流動資産合計	144,776	162,955
非流動資産		
有形固定資産	16,613	15,732
のれん	6,415	6,428
無形資産	4,548	5,217
投資不動産	3,400	3,564
持分法で会計処理されている投資	25,922	26,559
その他の金融資産	14,245	14,017
繰延税金資産	25	25
その他の非流動資産	331	428
非流動資産合計	71,498	71,968
資産合計	216,275	234,923

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	38,745	29,755
営業債務及びその他の債務	48,877	56,540
その他の金融負債	1,691	1,676
未払法人所得税等	1,388	3
その他の流動負債	4,080	3,635
流動負債合計	94,780	91,608
非流動負債		
社債及び借入金	13,957	37,382
その他の金融負債	9,127	7,861
退職給付に係る負債	477	461
引当金	476	479
繰延税金負債	14,717	15,864
その他の非流動負債	767	644
非流動負債合計	39,522	62,691
負債合計	134,303	154,299
資本		
資本金	7,830	7,844
資本剰余金	6,229	6,380
自己株式	△6,293	△11,156
その他の資本の構成要素	1,650	1,322
利益剰余金	70,614	73,971
親会社の所有者に帰属する持分合計	80,030	78,361
非支配持分	1,942	2,263
資本合計	81,972	80,624
負債及び資本合計	216,275	234,923

(2) 要約四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	18,508	19,226
営業投資有価証券に関する収益	—	3,990
その他の収益	3,291	863
金融収益	391	697
持分法による投資利益	143	2,765
収益計	22,333	27,542
費用		
売上原価	7,539	7,812
営業投資有価証券に関する損失	6,009	—
販売費及び一般管理費	11,861	13,140
その他の費用	263	263
金融費用	8,520	191
費用計	34,191	21,406
税引前四半期利益 (△損失)	△11,858	6,136
法人所得税費用	△3,765	1,904
四半期利益 (△損失)	△8,093	4,231
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△7,931	4,415
非支配持分	△162	△184
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	△168.30	97.34
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	△168.30	96.23

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	6,362	6,436
営業投資有価証券に関する収益	△233	△1,718
その他の収益	2,955	234
金融収益	△650	△674
持分法による投資利益	△665	894
収益計	7,769	5,171
費用		
売上原価	2,421	2,591
営業投資有価証券に関する損失	6,009	—
販売費及び一般管理費	3,992	4,569
その他の費用	96	88
金融費用	468	53
費用計	12,986	7,302
税引前四半期利益 (△損失)	△5,216	△2,130
法人所得税費用	△1,537	△883
四半期利益 (△損失)	△3,679	△1,248
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△3,607	△1,202
非支配持分	△73	△46
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	△76.70	△26.79
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	△76.70	△26.79

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益 (△損失)	△8,093	4,231
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△885	△41
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	17	5
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	441	357
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	0
税引後その他の包括利益	△427	322
四半期包括利益	△8,520	4,553
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△8,359	4,734
非支配持分	△161	△181

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益 (△損失)	△3,679	△1,248
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△57	260
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△5	△3
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△497	△288
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	△1
税引後その他の包括利益	△559	△32
四半期包括利益	△4,238	△1,280
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△4,160	△1,230
非支配持分	△79	△50

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2022年4月1日 残高	7,692	6,147	△1,409	613	1,660	0	2,273
会計方針の変更による累積的影響額							—
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,692	6,147	△1,409	613	1,660	0	2,273
四半期利益 (△損失)							—
その他の包括利益				△868	441		△428
四半期包括利益	—	—	—	△868	441	—	△428
新株の発行	133	133					—
支配継続子会社に対する持分変動		13					—
配当金							—
株式報酬取引		△37	116				—
自己株式の取得		△12	△4,884				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△397			△397
その他		△14					—
所有者との取引額等合計	133	83	△4,767	△397	—	—	△397
2022年12月31日 残高	7,825	6,230	△6,177	△653	2,101	0	1,448

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2022年4月1日 残高	81,035	95,738	1,479	97,217
会計方針の変更による累積的影響額	△120	△120	△0	△120
会計方針の変更を反映した当期首残高	80,916	95,618	1,479	97,097
四半期利益 (△損失)	△7,931	△7,931	△162	△8,093
その他の包括利益		△428	0	△427
四半期包括利益	△7,931	△8,359	△161	△8,520
新株の発行		265		265
支配継続子会社に対する持分変動		13	752	765
配当金	△1,648	△1,648		△1,648
株式報酬取引		79		79
自己株式の取得		△4,896		△4,896
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	397	—		—
その他		△14		△14
所有者との取引額等合計	△1,251	△6,200	752	△5,448
2022年12月31日 残高	71,733	81,059	2,070	83,129

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2023年4月1日 残高	7,830	6,229	△6,293	△469	2,111	8	1,650
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△36	355		319
四半期包括利益	—	—	—	△36	355	—	319
新株の発行	14	14					—
支配継続子会社に対する持分変動		△3					—
連結範囲の変動							—
配当金							—
株式報酬取引		193	137				—
自己株式の取得		△57	△5,000				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△647			△647
その他		4					—
所有者との取引額等合計	14	150	△4,863	△647	—	—	△647
2023年12月31日 残高	7,844	6,380	△11,156	△1,152	2,466	8	1,322

親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2023年4月1日 残高	70,614	80,030	1,942	81,972
四半期利益(△損失)	4,415	4,415	△184	4,231
その他の包括利益		319	3	322
四半期包括利益	4,415	4,734	△181	4,553
新株の発行		28		28
支配継続子会社に対する持分変動		△3	453	450
連結範囲の変動		—	49	49
配当金	△1,705	△1,705		△1,705
株式報酬取引		330		330
自己株式の取得		△5,057		△5,057
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	647	—		—
その他		4		4
所有者との取引額等合計	△1,058	△6,403	502	△5,901
2023年12月31日 残高	73,971	78,361	2,263	80,624

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△11,858	6,136
減価償却費及び償却費	2,716	2,794
受取利息及び受取配当金	△53	△48
支払利息及び社債利息	202	181
持分法による投資損益 (△は益)	△143	△2,765
投資有価証券に関する損益 (△は益)	8,308	△268
関係会社株式売却損益 (△は益)	△2,720	△1
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,752	△4,389
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	6,119	△3,888
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△54	△67
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	18,299	7,546
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△167	187
その他	△395	△1,177
小計	25,004	4,240
利息及び配当金の受取額	1,501	1,548
利息の支払額	△76	△108
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,767	△1,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,661	4,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△300	△581
無形資産の取得による支出	△1,221	△1,548
投資有価証券の取得による支出	△3	△302
投資有価証券の売却による収入	846	1,644
投資事業組合からの分配による収入	61	793
子会社の取得による支出	—	△1,000
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	△538	△501
持分法で会計処理されている投資の売却による 収入	3,337	58
その他	△35	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,148	△1,458

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,560	15,640
長期借入れによる収入	1,100	26,100
長期借入金の返済による支出	△1,921	△2,459
社債の償還による支出	—	△25,000
リース負債の返済による支出	△1,300	△1,286
非支配持分からの払込による収入	765	499
自己株式の取得による支出	△4,896	△5,076
配当金の支払額	△1,647	△1,703
その他	16	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,323	6,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,490	9,406
現金及び現金同等物の期首残高	43,415	53,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,906	62,740

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税 (2021年5月改訂)	単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金の会計処理を明確化

当社グループは、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。

本改訂は遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結財政状態計算書は、持分法で会計処理されている投資が5百万円増加、繰延税金資産が0百万円減少、繰延税金負債が118百万円増加、利益剰余金が113百万円減少、非支配持分が0百万円減少しております。また、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書は、法人所得税費用が30百万円減少し、四半期損失が30百万円減少しております。

前第3四半期連結累計期間の基本的1株当たり四半期損失及び希薄化後1株当たり四半期損失はそれぞれ、0.64円減少しております。

前第3四半期連結累計期間の期首の資本に累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書において、前第3四半期連結累計期間の利益剰余金の期首残高が120百万円減少、非支配持分の期首残高が0百万円減少しております。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントの利益(△損失)は、税引前四半期利益(△損失)をベースとしており、セグメント間の収益は、市場実勢価格に基づいております。

また、第1四半期連結会計期間において、2024年3月期を初年度とする新たな中期経営計画を発表したことに伴い、新たなグループ体制による収益の多層化に取り組んでいくこととし、従来のビジネスに関する業績評価、資源の配分及び管理方法等を変更いたしました。

これにより、従来のセグメント区分を変更し、「プラットフォームソリューション」、「ロングタームインキュベーション」、及び「グローバル投資インキュベーション」の3つを報告セグメントとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション	計		
	百万円	百万円	百万円	百万円		
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	17,276	1,232	—	18,508	—	18,508
その他の収益	71	2,731	290	3,092	199	3,291
金融収益	△25	3	119	98	293	391
持分法による投資 利益	128	2,664	△2,649	143	—	143
外部収益計	17,450	6,631	△2,240	21,841	492	22,333
セグメント間収益	326	87	12	425	△425	—
収益計	17,776	6,718	△2,228	22,265	68	22,333
セグメント利益 (△損失)	4,760	4,251	△9,603	△592	△11,267	△11,858

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△11,267百万円には、セグメント間取引消去△5,210百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益6,536百万円及び全社費用△12,593百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融費用であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。
4. グローバル投資インキュベーションにおけるセグメント利益(△損失)には、純額で計上した営業投資有価証券に関する損失6,009百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション	計		
	百万円	百万円	百万円	百万円		
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	17,709	1,517	—	19,226	—	19,226
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	3,990	3,990	—	3,990
その他の収益	30	39	510	580	283	863
金融収益	△19	17	148	146	551	697
持分法による投資 利益	274	2,553	△61	2,765	—	2,765
外部収益計	17,993	4,126	4,587	26,707	835	27,542
セグメント間収益	141	72	64	276	△276	—
収益計	18,134	4,198	4,651	26,983	558	27,542
セグメント利益	4,992	1,241	2,996	9,229	△3,093	6,136

- (注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△3,093百万円には、セグメント間取引消去△8,143百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益10,662百万円及び全社費用△5,612百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション	計		
	百万円	百万円	百万円	百万円		
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	5,955	408	—	6,362	—	6,362
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	△233	△233	—	△233
その他の収益	68	2,725	91	2,885	70	2,955
金融収益	16	△5	△327	△317	△334	△650
持分法による投資 利益	53	1,040	△1,759	△665	—	△665
外部収益計	6,092	4,168	△2,228	8,033	△263	7,769
セグメント間収益	82	41	4	127	△127	—
収益計	6,174	4,209	△2,224	8,160	△391	7,769
セグメント利益 (△損失)	1,949	3,263	△8,726	△3,514	△1,703	△5,216

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△1,703百万円には、セグメント間取引消去△2,353百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,397百万円及び全社費用△1,746百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。
4. グローバル投資インキュベーションにおけるセグメント利益(△損失)には、純額で計上した営業投資有価証券に関する損失6,009百万円が含まれております。

当第3四半期連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション			
	百万円	百万円	百万円			
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	5,881	555	—	6,436	—	6,436
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	△1,718	△1,718	—	△1,718
その他の収益	29	20	92	141	93	234
金融収益	11	△22	△148	△159	△515	△674
持分法による投資 利益	107	951	△164	894	—	894
外部収益計	6,027	1,505	△1,938	5,594	△422	5,171
セグメント間収益	54	3	32	89	△89	—
収益計	6,081	1,507	△1,906	5,682	△511	5,171
セグメント利益 (△損失)	1,695	412	△2,506	△400	△1,731	△2,130

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△1,731百万円には、セグメント間取引消去△3,640百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益3,813百万円及び全社費用△1,903百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。